

令和6年度大学・高専機能強化支援事業
(支援2：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援)【大学】
事業概要

令和6年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	北陸先端科学技術大学院大学		
設置区分	国立	学校種	大学院大学
都道府県	石川県	事業期間	令和6年度～令和15年度
申請区分	大学（一般枠）	改組内容	研究科等の設置・増員
事業計画名	次世代AI社会の創成を担う高度情報専門人材の育成		

2. 事業概要

<p>北陸先端科学技術大学院大学は、産業界において要請が高いAIソリューション技術や、AI倫理の知識を有し、AIと人との共生社会における次世代AIの研究開発に取り組み、多様なAIソリューションの創出において網羅的かつ複合的に課題解決できる、次世代AI社会の創成を担う高度情報専門人材を育成するため、令和7年度に「高度情報専門人材育成コース（JAIST×Hコース）」を設置し、博士前期課程15名（令和7年度）、博士後期課程15名（令和7年度に5名、令和9年度に10名）の入学定員増を図る。</p> <p>本コースでは、従前の情報科学のカリキュラムをベースに、次世代AI技術に関連する4つの分野（AI、インタラクション、サイバーセキュリティ、ヒューマン）の講義・演習のほか、共通科目としてAI倫理・データサイエンス科目を開設する。また、4分野の教授陣による複数教員指導制により、学生が主体的に2分野以上の研究テーマを行う体制を整える。</p>

3. 情報系組織

情報系組織の設置・増員計画（赤字は事業対象組織）

課程	組織名	入学定員		設置・増員等時期	設置等後の 主な学位分野
		事業開始時	事業終了時		
博士	先端科学技術研究科先端科学技術専攻	29	44	R7増員、R9増員	工学関係
	計	29	44	増員数	15
修士	先端科学技術研究科先端科学技術専攻	104	119	R7増員	工学関係
	計	104	119	増員数	15
学士		0	0		
	計	0	0	増員数	0

大学全体の収容定員に占める情報系組織の収容定員の割合

	博士課程	修士課程	大学院計
増員前（R6.4.1時点）	30.5%	35.6%	33.9%
増員後	40.0%	38.8%	39.2%
増分	+9.5%	+3.2%	+5.3%

事業計画名 次世代AI社会の創成を担う高度情報専門人材の育成

基本情報

改組内容	研究科等の設置・増員
所在地	石川県能美市
増員する情報系組織名(博士)	先端科学技術研究科先端科学技術専攻
入学定員増数及び増員時期(博士)	15名 (R7, R9)
増員する情報系組織名(修士)	先端科学技術研究科先端科学技術専攻
入学定員増数及び増員時期(修士)	15名 (R7)

【背景】

人間中心社会(Society 5.0)の実現に向けて、単にAI、データサイエンスだけでなく、IoT、AI、データサイエンス、サイバーセキュリティの高度な知識を複合的に有する情報人材の育成が喫緊の課題になっている。

【産業界のニーズ】

進歩の早いAI技術に対して迅速に対応できる、AIソリューション技術、サイバーセキュリティ技術、AI倫理の知識を有するAIエンジニアを必要としている。

【アカデミアのシーズ】

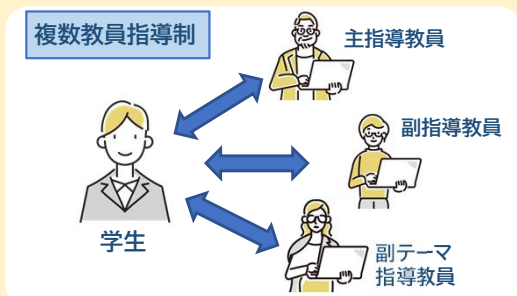
人間中心AI(人の能力を高めてくれるAI)や解釈可能AI(AIが生成した結果を理解し、信頼を高めること)といった次世代AIに関する研究シーズを提供する。

【育成する人材像】

- ① AIと人が共生する社会における次世代AIの高度な研究開発を行うことができる高度情報専門人材を養成
 - ② 次世代AI(人間中心AIや解釈可能AI等)における問題提起・問題解決能力を有する人材の輩出
- 社会のニーズとアカデミアからのシーズが合致した多様なAIソリューションを創出する4つの分野(AI、インタラクション、サイバーセキュリティ、ヒューマン)にて、網羅的・複合的にその課題の理解を深化し、問題解決できる高度情報専門人材を輩出する。

【本コースの特色】

- ・4分野をカバーしたユニークな研究教育環境を提供
- ・4分野共通の必修科目(AI倫理など)を提供
- ・演習・実習を重視したカリキュラム
- ・分野を跨いだ複数教員指導制を提供
- ・分野のJointは学生が主体的に選択
- ・教育研究環境のグローバル化
- ・産業界を含む社会のニーズに対応したリカレント教育



<R7新設> JAIST×H 高度情報専門人材育成コース
Joint Ai Interaction cyber Security × Human
【 AI × インタラクション × サイバーセキュリティ × ヒューマン 】

JAIST×Hコースの4つの分野と共通教育



【初等中等教育との連携】

本コースの背景となるAI技術を用いた協力事業の実施

【他大学・高专等との連携】

- ・ASEANの協定校との連携講座を通じ学部・大学院接続プログラムを実施
- ・「次世代科学技術チャレンジプログラム事業」(金沢大学)に連携機関として、地域の卓越した高校生を対象にAIに係る高度で体系的な学修と実践の場を提供

【企業・自治体等との連携】

- ・「Matching HUB Hokuriku」北陸初の産学官金連携マッチングイベント
- ・「北陸未来共創フォーラム」(国立大学改革・研究基盤強化推進補助金)
- ・「Tech Startup HOKURIKU」(本学及び金沢大学が主幹機関 スタートアップ・エコシステム共創プログラム 地域プラットフォーム共創支援)

【女子学生、社会人、留学生等の確保】

女子学生比率 M:20.7% D:24.3%(全国国立大学工学系平均 M:14.1%D:17.4%)
 社会人学生比率 M:30.5% D:61.2%(全国国立大学工学系平均 M:4.4%D:37.6%)
 留学生比率 39.9% 海外在住者対象推薦入学制度、英語のみでの学位取得可能



(※)インドネシア:UNIKOM、バンドン工科大学等 タイ:マヒドン大学、タマサート大学 ドイツ:ドレスデン工科大学 等